日本国内　自動車解体事業者様向け

FIAT 600 Hybrid

48V バッテリー
取外し・回収マニュアル

対象車種

モデル	型式
FIAT 600 Hybrid	3AA-FH1FIM

Stellantisジャパン株式会社

2026.04

12V/48V バッテリーの電源遮断

警告 :

トラクション・バッテリー装備車の作業を行う整備士は、電気自動車に特化した研修を受け、電気自動車での作業を許可されていなければならない (関係国で施行されている規制に準拠する)。

予備作業

1. 車両を 2 柱リフトに載せる。
2. フロント・ドア・ウインドウ、ボンネット、リフトゲートを開く。
3. 電動パーキングブレーキを解除する。
4. シフトポジションを P にする。

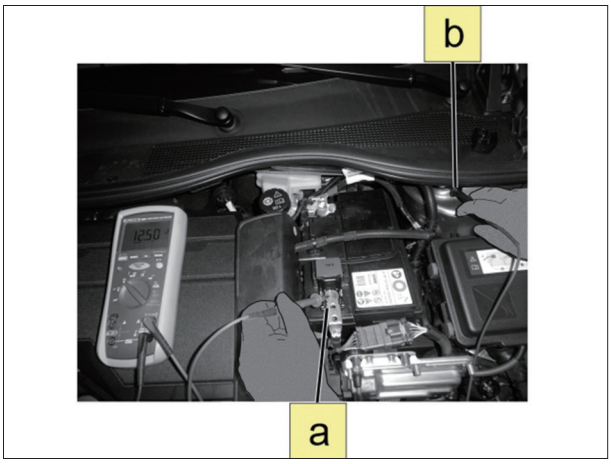
電圧の有無の確認

1. 車両のエンジンを始動する。

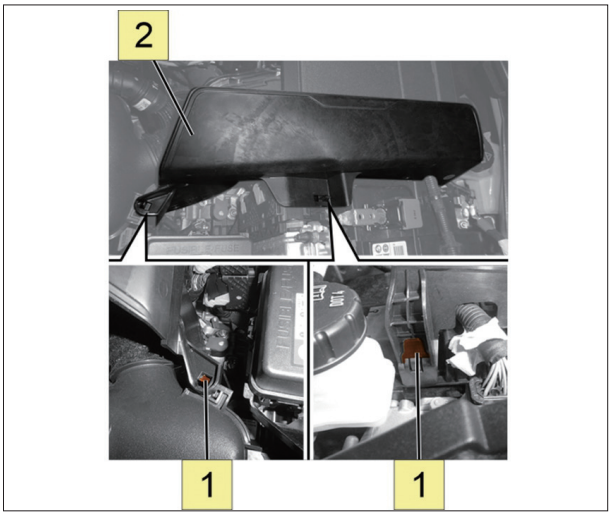
注意 :

マルチメーターをチェックする（サプライヤーの推奨に従って）。

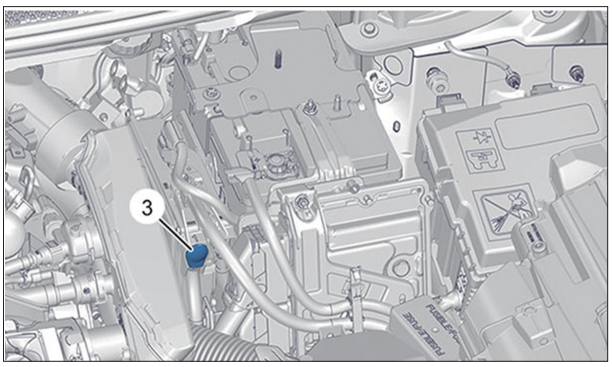
2. 12V バッテリープラス端子（a）のカバーを取り外す。
3. 12V バッテリープラス端子（a）と車体のアースポイント（b）の間にマルチメーターを接続し、12V から 15V の範囲にあることを確認する。



4. リテーナ (1) を外し、保護カバー (2) を取り外す。



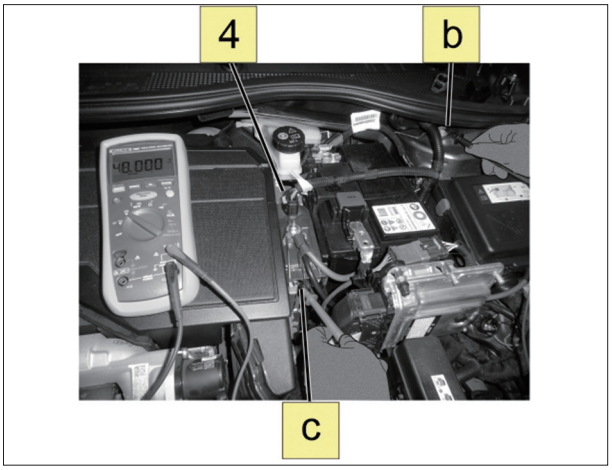
5. DC/DC コンバータ・モジュール接続部のキャップ (3) を取り外す。



6. マルチメータを DC/DC コンバータ・モジュールのプラス端子（c）とボディのアースポイント（b）の間に接続し、電圧値が 48V であることを確認する。

警告：

48V 電圧の存在が確認されない場合、シャットダウン手順を停止し、問題をテクニカルサービスに報告すること。



7. エンジンを停止する。

注意：

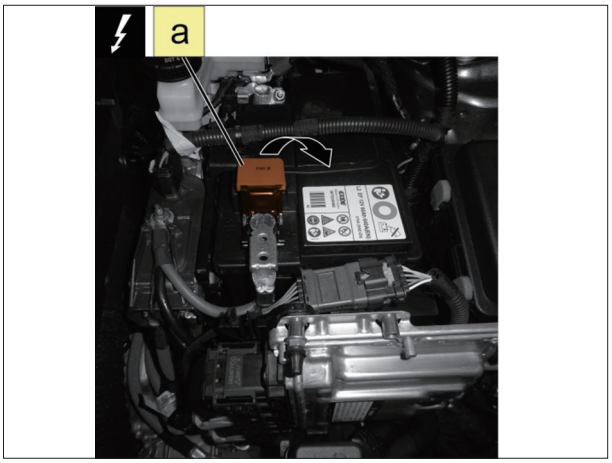
エンジンを切った後、5 分間待つ（ECU がスリープ状態になるため）。

メモ：

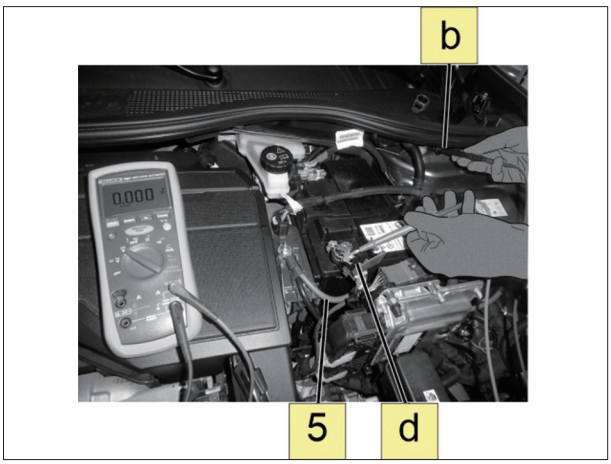
制御モジュールがスリープモードに入ったことを確認するため、シフトポジションの表示灯「P」が消灯します。

無電圧テスト

1. バッテリープラス端子のレバー (a) を持ち上げて切り離す。

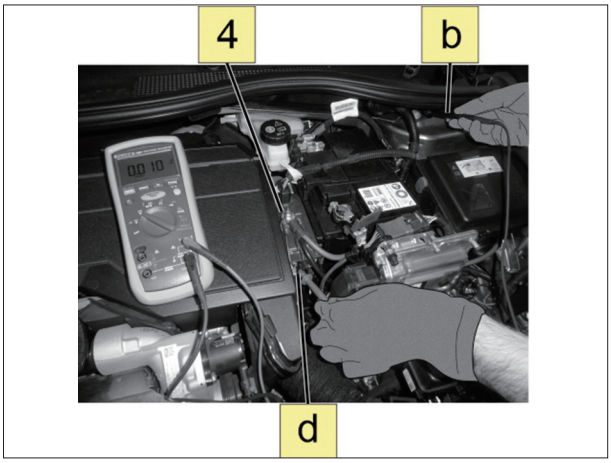


2. マルチメータを使用して、12V バッテリーから外したプラス側ケーブル（d）と車体のアースポイント（b）の間に電圧がないことを確認します。



3. 補助バッテリーのプラス側ケーブル (5) を絶縁バッグに取り付け、12V バッテリーのプラス側端子に 12V 絶縁キャップをかぶせます。

4. マルチメータを使用して、DC/DC コンバータ・モジュール（4）のプラス端子（d）とボディの接地点（b）の間に電圧がないことを確認します。



注意 :

マルチメータのプローブの先端は、端子（"d"、"b"）に接触していなければならない。

警告 :

無電圧チェックで結果が異なる場合は、電源遮断手順を中止し、顧客に問題を報告すること。

注意 :

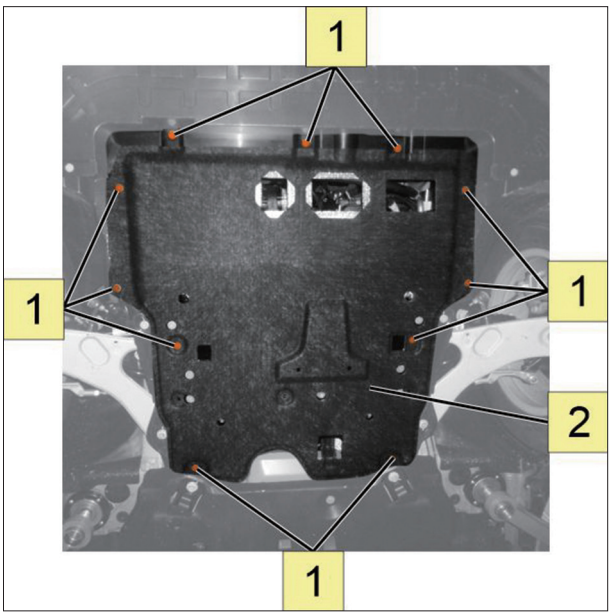
結果が肯定的であれば、マルチメーターで導通（テストプローブ間の接触）を再度チェックする。48V の電圧によるショートの危険性は排除される。

以上で、車両の電源遮断手順が完了し、車両が電気的に保護された。

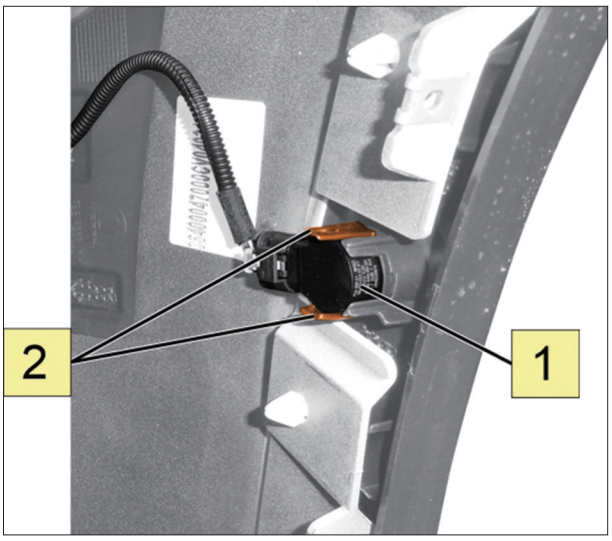
クーラントの抜き取り

車両下部カバー類の取り外し

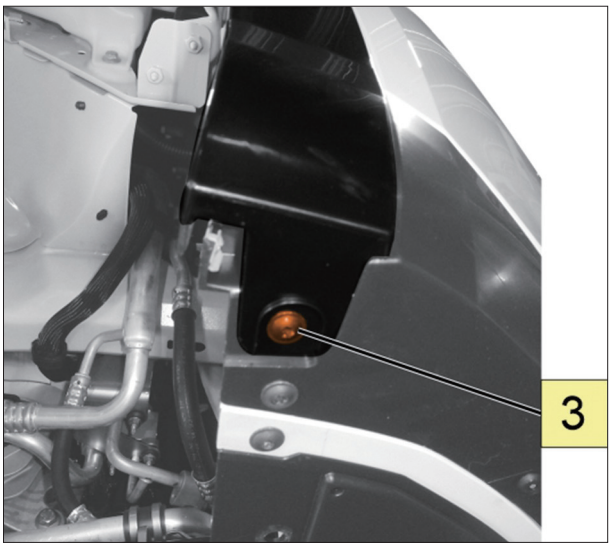
1. 固定スクリュ (1) を緩め、スキッド・プレート (2) をハウジングから取り外す。



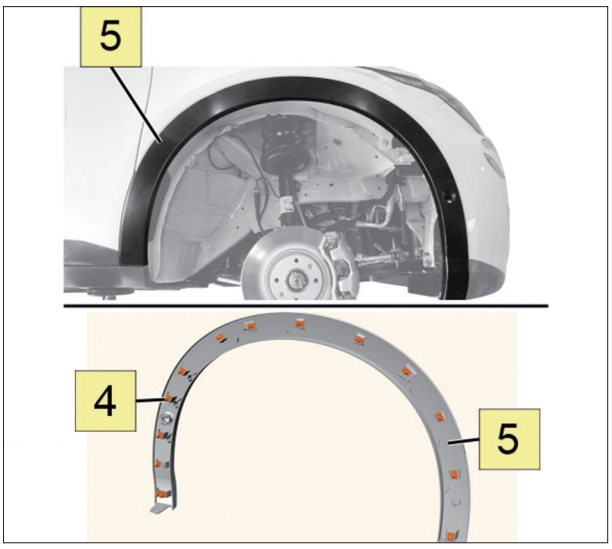
2. 左右のフロント・ホイールを取り外す。
3. 左右のフロント・ホイール・アーチ・ライナを取り外す。
4. 障害物検知センサー (1) がある場合は、リテーナー (2) から取り外す。



5. 固定スクリュ (3) を外す。



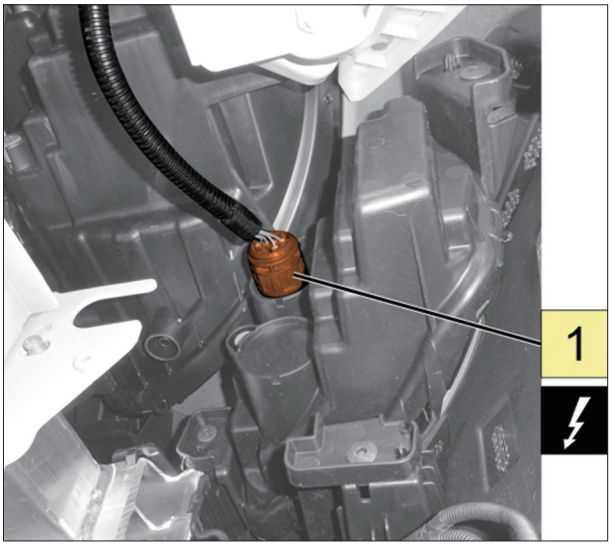
6. ホイールハウスの内側から作業し、適切な工具を使用してリテーナー (4) を解除して押し、モールディング (5) を取り外す。



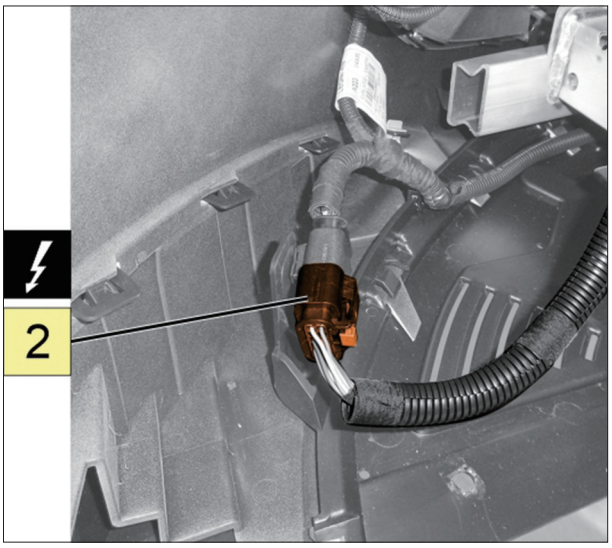
メモ :

反対側のフロント・ホイール・アーチのモールディングを同様の手順で取り外す。

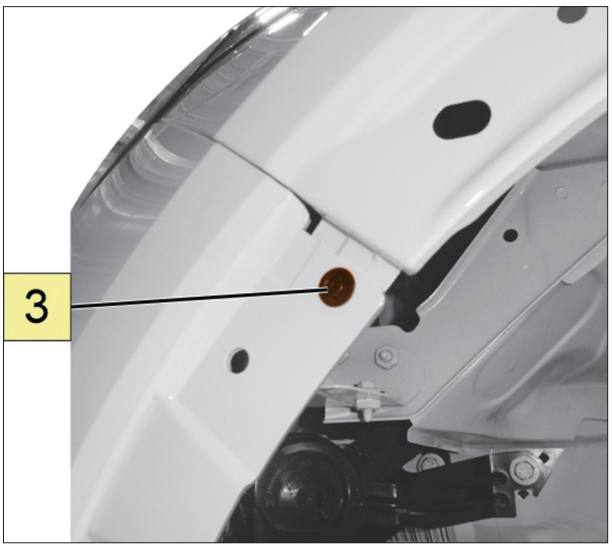
7. フロントロワーライトクラスターのコネクタ (1) を外す。



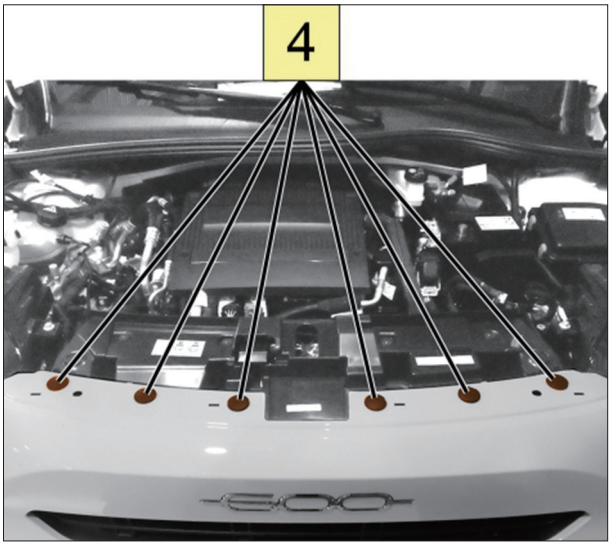
8. 左側で作業し、フロント / バンパーのコネクタ (2) を外す。



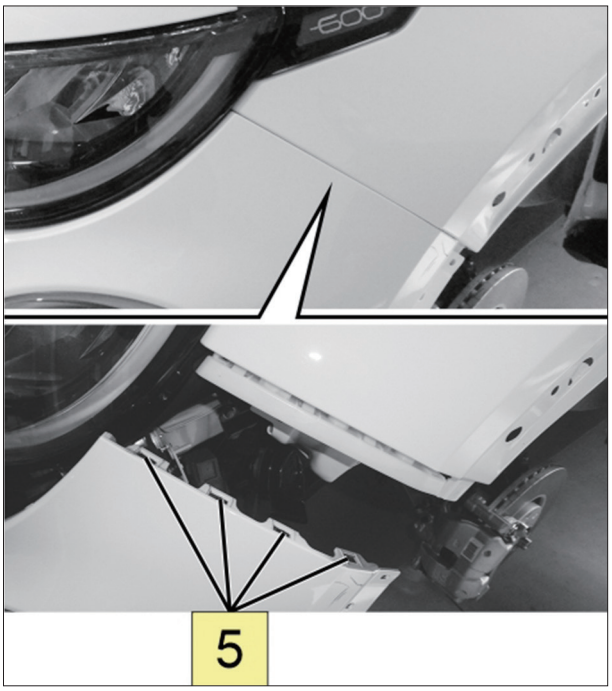
9. 車の両側で作業し、バンパーのサイド固定 (3) ネジを外す。



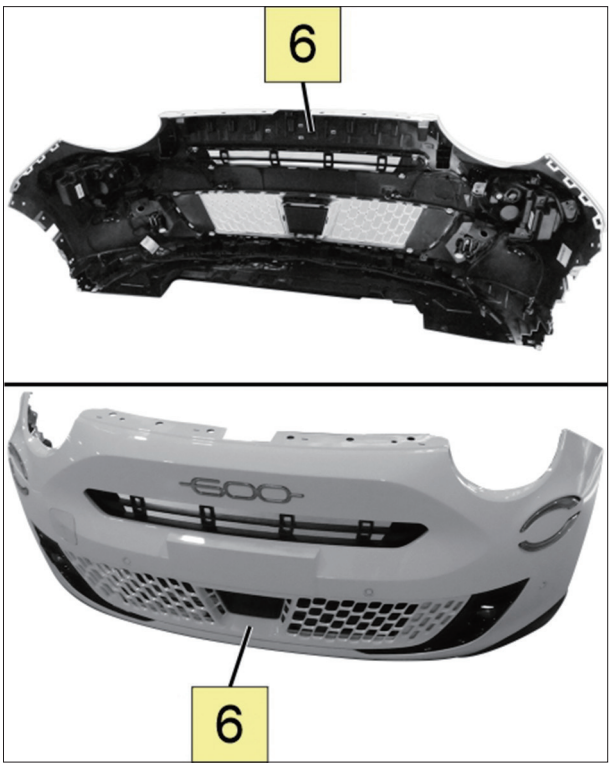
10. バンパーのアッパ・リテーナ (4) を外す。



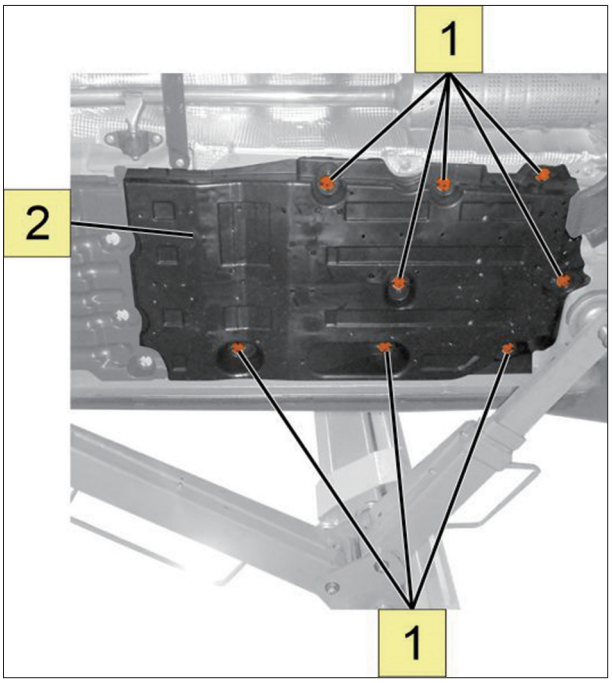
11. バンパーのサイド・リテーナ (5) を外す。



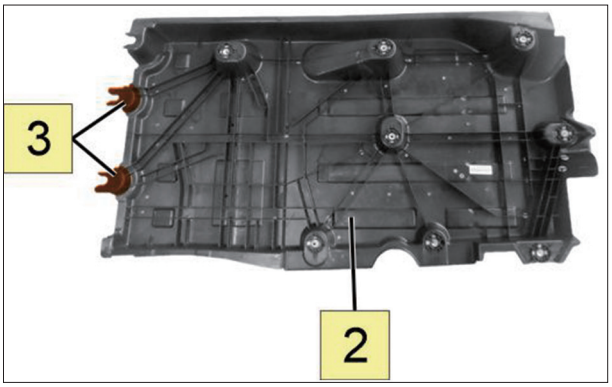
12. バンパー (6) をハウジングから取り外す。



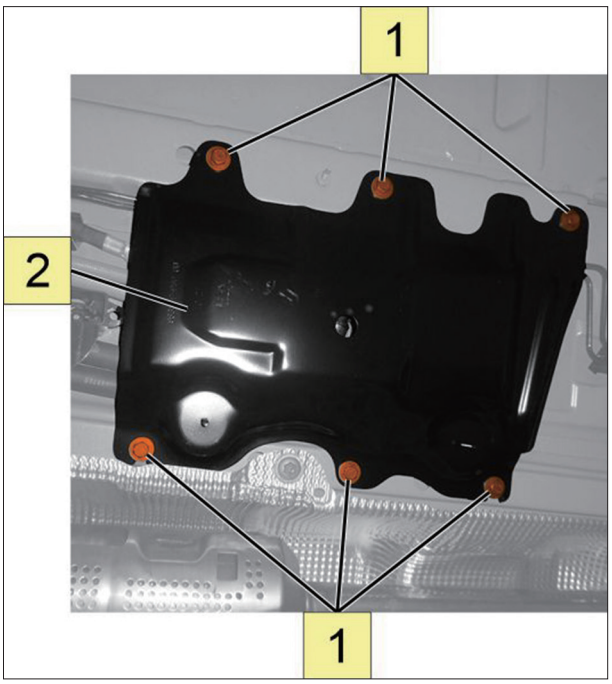
13. アンダーボディシールド (2) の固定ナット (1) を外す。



14. リヤ・リテーナ (3) を外し、スキッド・プレート (2) を取り外す。



15. 固定ナット (1) を緩め、低電圧バッテリー・シールド (2) を取り外す。

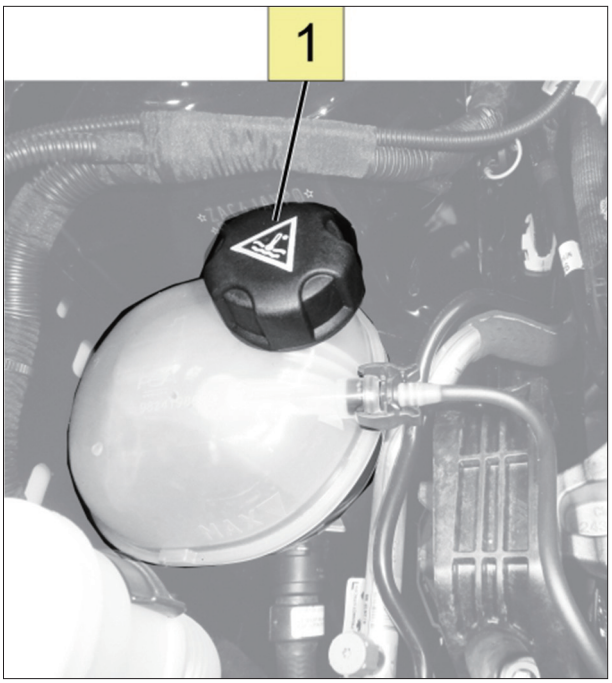


クーラントの排出

1. エンジンが冷めた状態で、クーラント・サプライ・タンクのキャップ (1) を外す。

注意 :

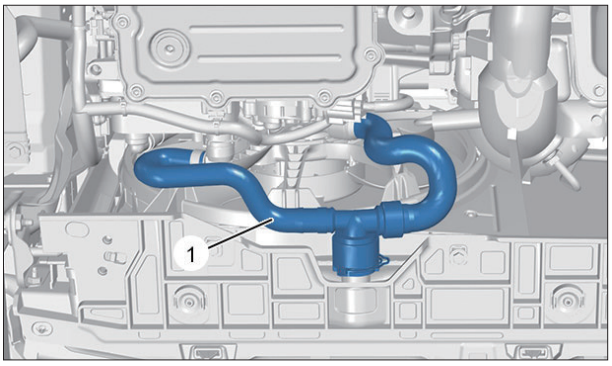
エンジンが暖まっているときは火傷の危険があるため、タンクのキャップは外さない。



2. クーラント・ホース (1) をエンジン・クーリング・ラジエータから切り離す。

注意 :

クーラントを適切な容器に回収する。

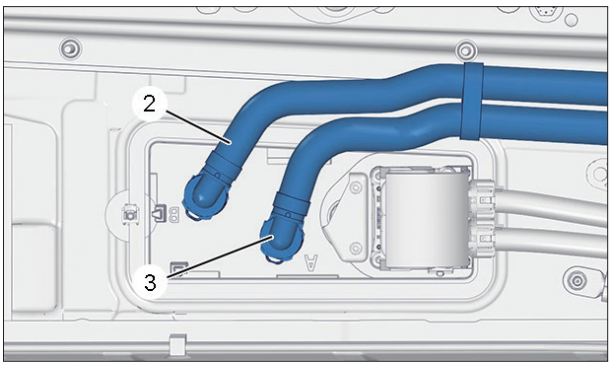


3. クーリング回路のパイプ (2) と (3) を 48V トラクション・バッテリーから切り離す。
4. クーリング回路からクーラントを排出させる。

注意 :

クーラントを適切な容器に回収する。

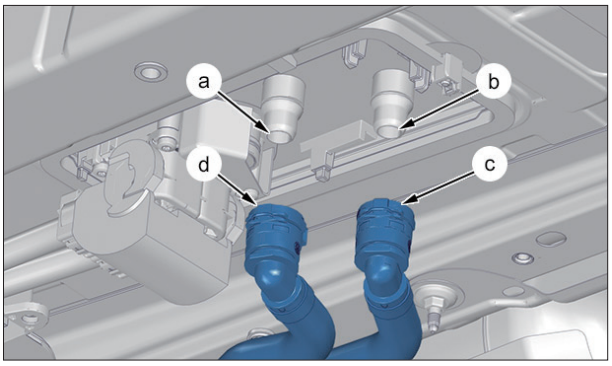
5. エンジン・クーリング・ラジエータへクーラント・ホース (1) を接続する。



6. 圧縮空気を使用して、クーリング回路 (エンジン・クーリング・ラジエータ側) を空にする ("c" または "d")。
7. 圧縮空気を使用して、クーリング回路 (トラクション・バッテリー側) を空にする ("a" または "b")。
8. クーリング回路からクーラントを排出させる。

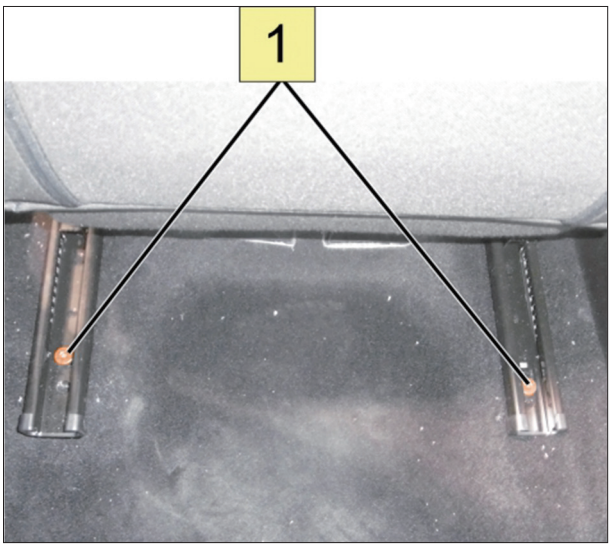
注意 :

クーラントを適切な容器に回収する。

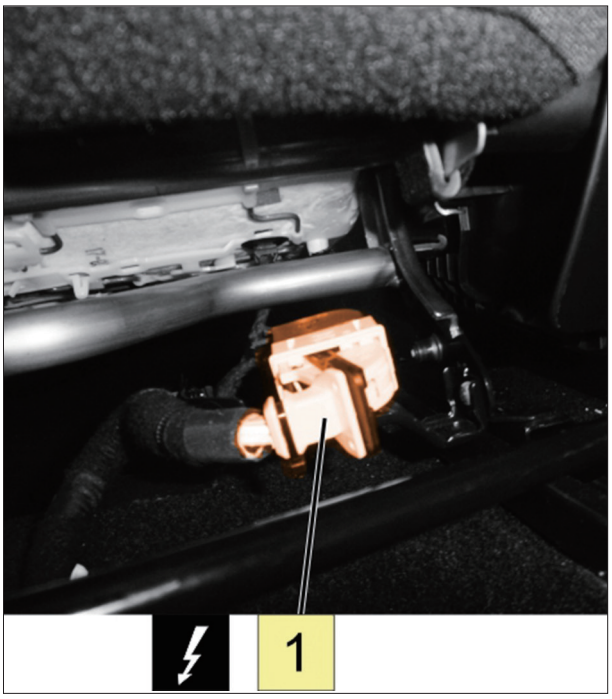


室内トリム類の取り外し

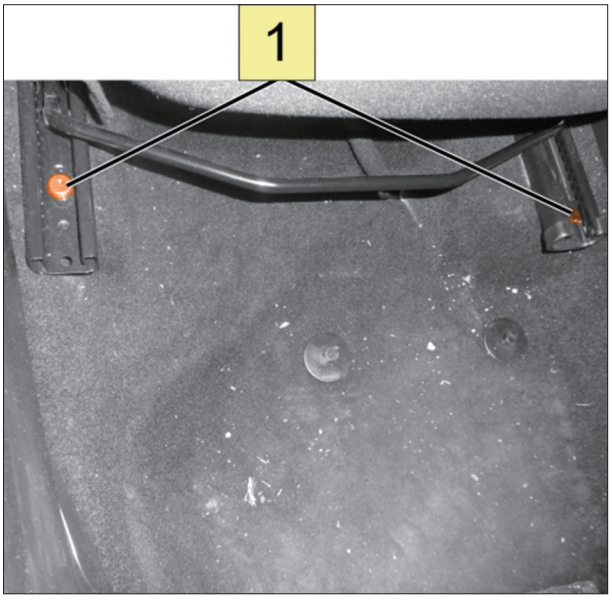
1. 助手席シートを可動範囲の最前部まで動かす。
2. シートを固定している後部のスクリュ (1) を外す。



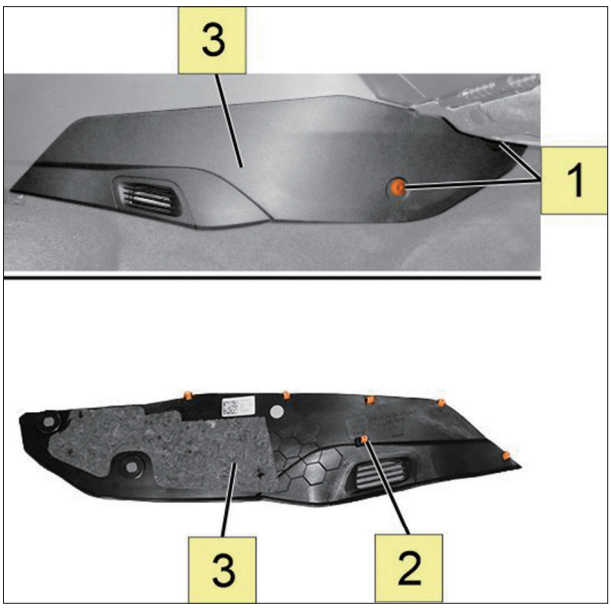
3. 助手席シートを可動範囲の最後部まで動かす。
4. コネクタ (1) を取り外す。



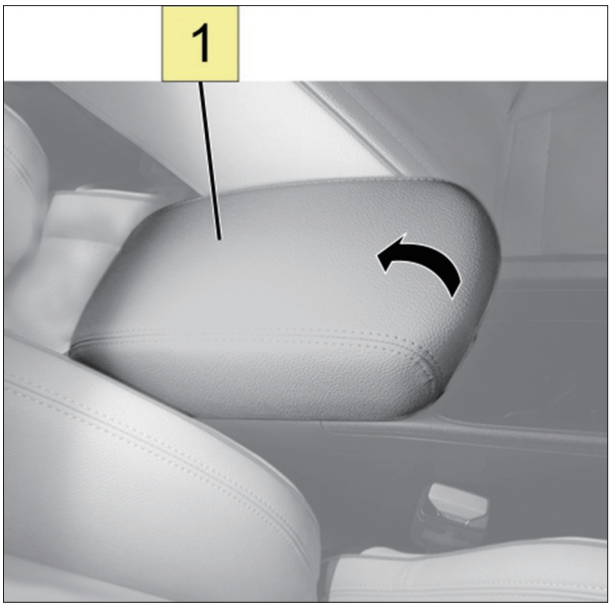
5. シートを固定している前部のスクリュ (1) を外す。
6. 助手席シートを取り外す。



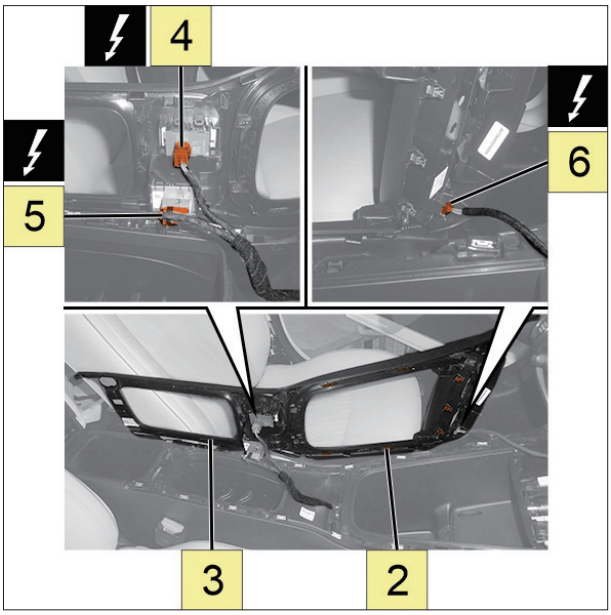
7. リテーニング・クリップ (1) を外す。
8. リテーニング・クリップ (2) 外し、サイド・コンソール・クロージャ (3) を取り外す。



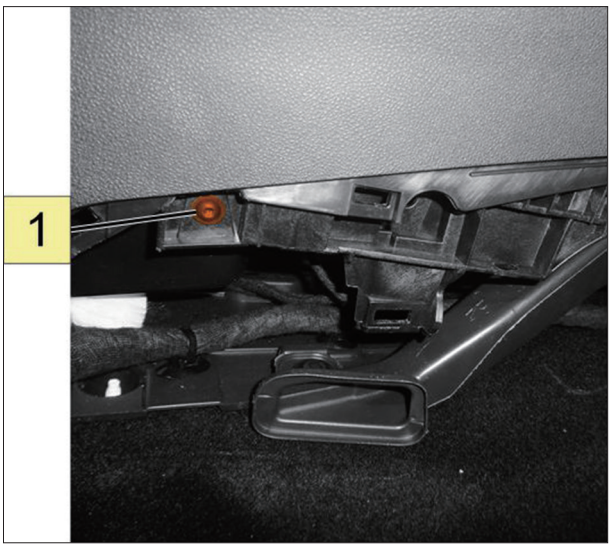
9. アームレスト (1) を上げる。



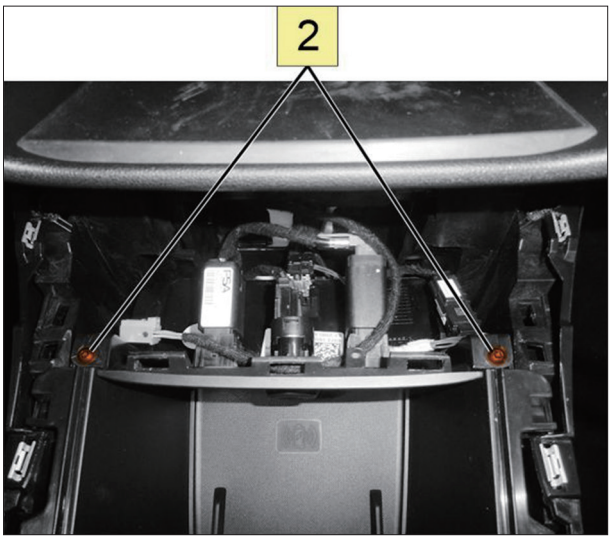
10. 周囲に沿ってリテーニング・クリップ (2) を外し、トリム (3) を持ち上げる。
11. パーキング･ブレーキ (4) と車両ダイナミック･セレクタ (5) のコネクタを切り離す。
12. 走行モード・セレクタ (6) のコネクタを切り離す。
13. トリム (3) を取り外す。



14. サイド固定スクリュ (1) を緩める。



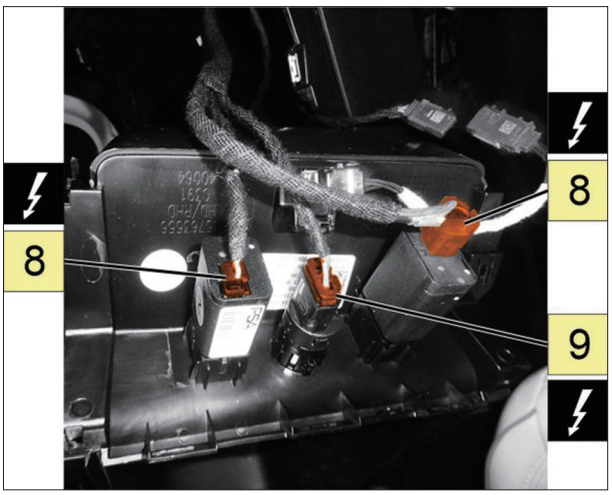
15. アッパ固定スクリュ (2) を緩める。



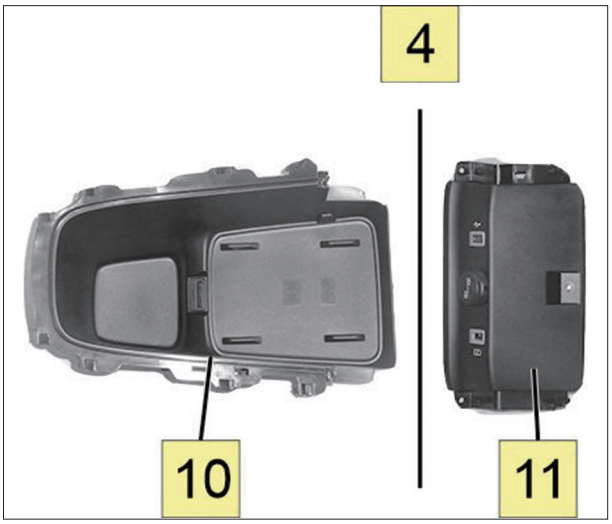
16. リテーニング・クリップ (3) を外し、ストレージ・コンパートメント (4) を持ち上げる。
17. グローブ・ボックス (5) のカーテシ・ランプのコネクタを切り離す。
18. ワイヤレス充電器のコネクタ (6) を切り離す。
19. ワイヤレス充電器警告灯のコネクタ (7) を切り離す。



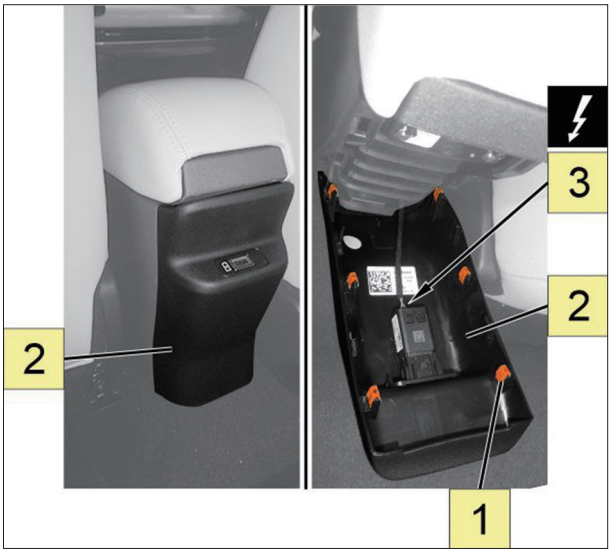
20. USB ポート (8) と電源コンセント (9) のコネクタを切り離す。



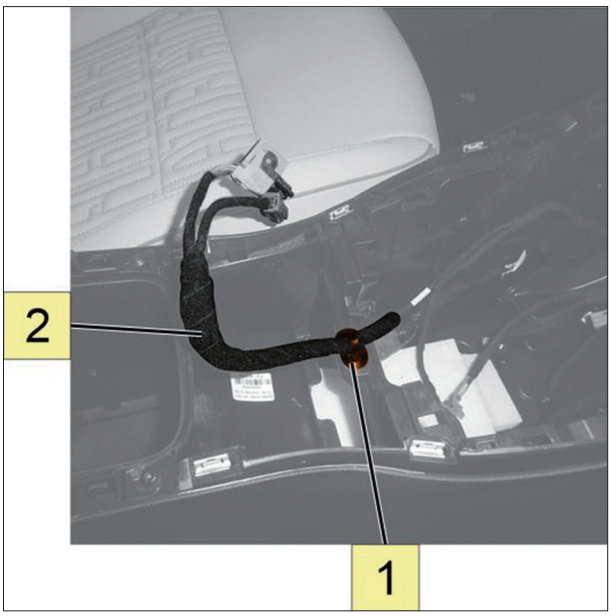
21. ドロワ (10) とトリム (11) から成るストレージ・コンパートメント (4) を取り外す。
22. 必要に応じて、電源コンセントの USB ポート、カーテシ・ランプ、ワイヤレス充電表示灯 LED を取り外す。



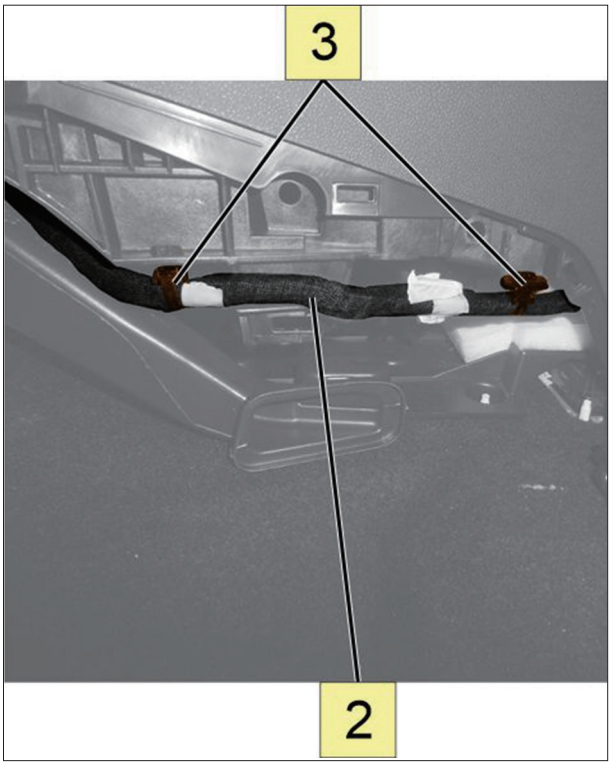
23. リテーニング・クリップ (1) を外し、トンネルのリヤ・カバー (2) を脇へよける。
24. USB ポートのコネクタ (3) を切り離す。



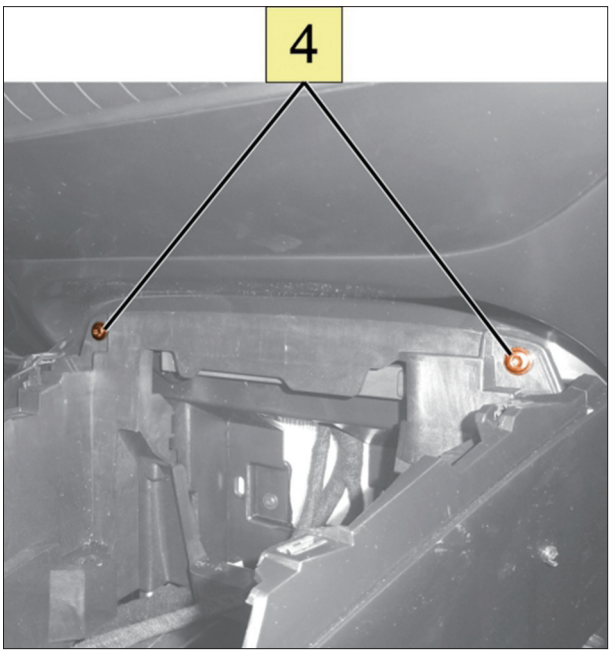
25. 配線 (2) のリテーニング・クリップ (1) を外し、脇によけておく。



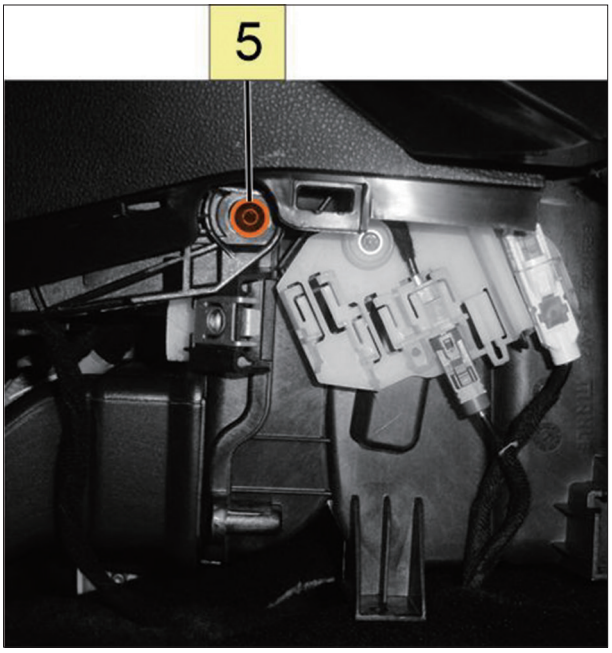
26. 配線 (2) のリテーニング・クリップ (3) を外す。



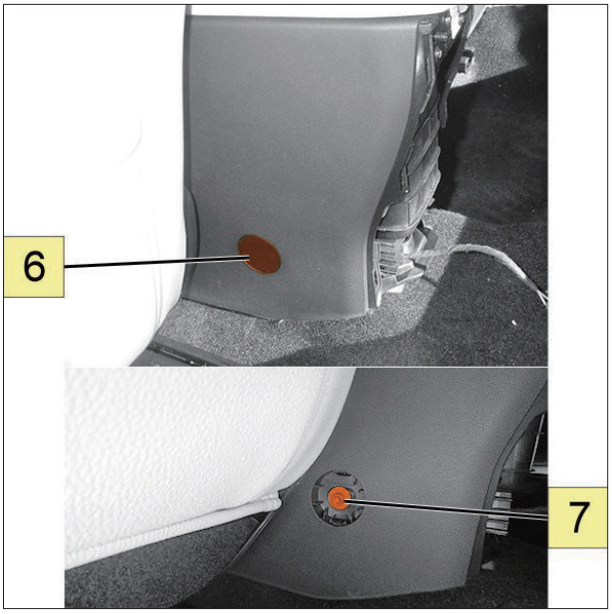
27. トンネル・トリムのフロント固定スクリュ (4) を取り外す。



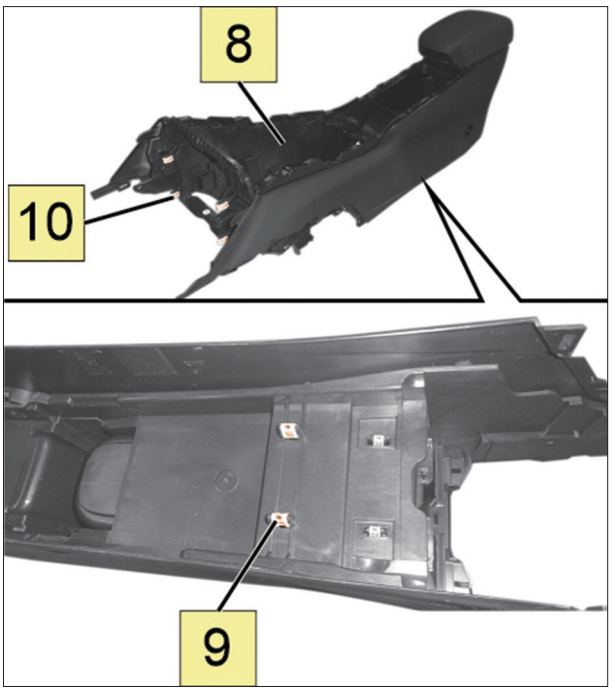
28. トンネル・トリムの中央固定スクリュ (5) を取り外す。



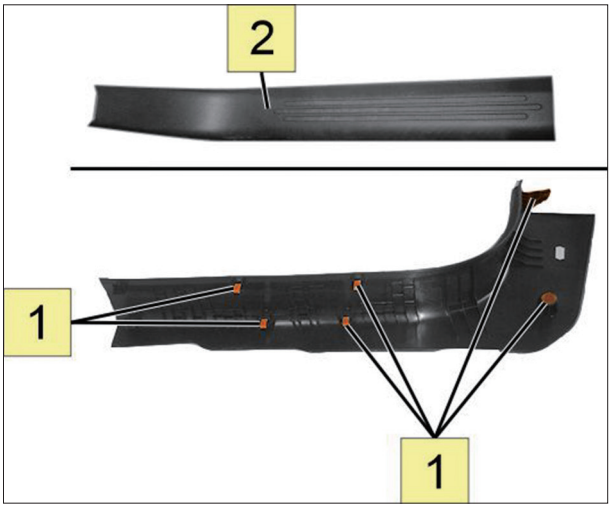
29. カバー (6) とトンネルのカバーのリヤ固定スクリュ (7) を取り外す。



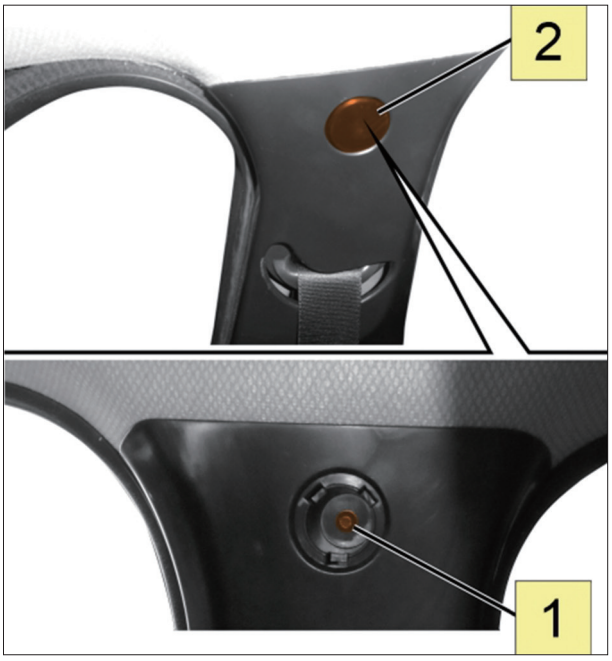
30. フロアのブラケットのロア・リテーニング・クリップ (9)、およびダッシュボード・トリムのフロント・リテーニング・クリップ (10) を外して、トンネル (8) の内張りを持ち上げて取り外す。



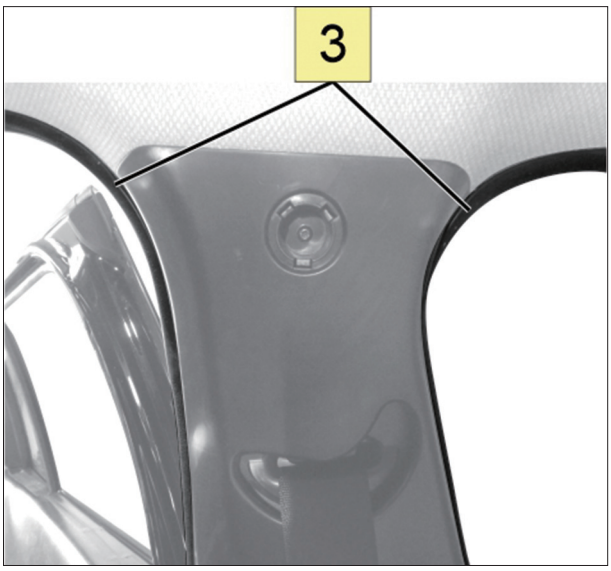
31. 助手席側のインナ・リテーナ (1) を取り外し、助手席側スカッフ・プレート (2) を取り外す。



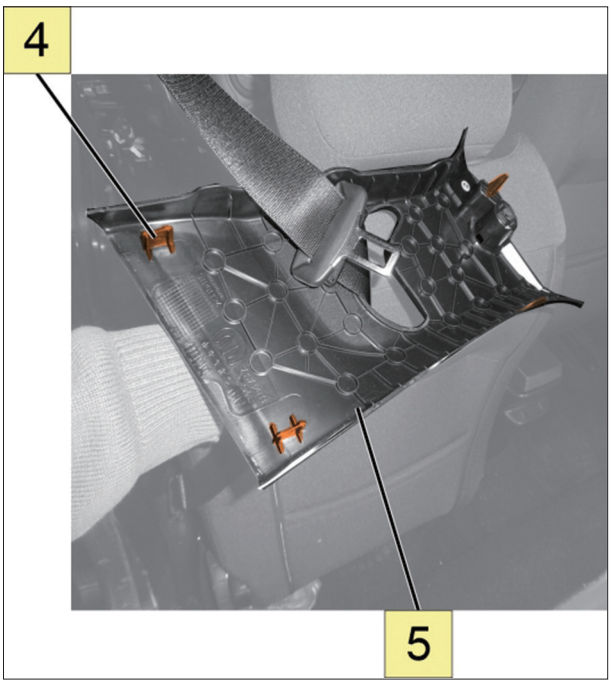
32. 助手席側セントラル・ピラー・アッパ・エレメントのカバー (2) を固定位置から取り外し、その下にある固定スクリュ (1) を外す。



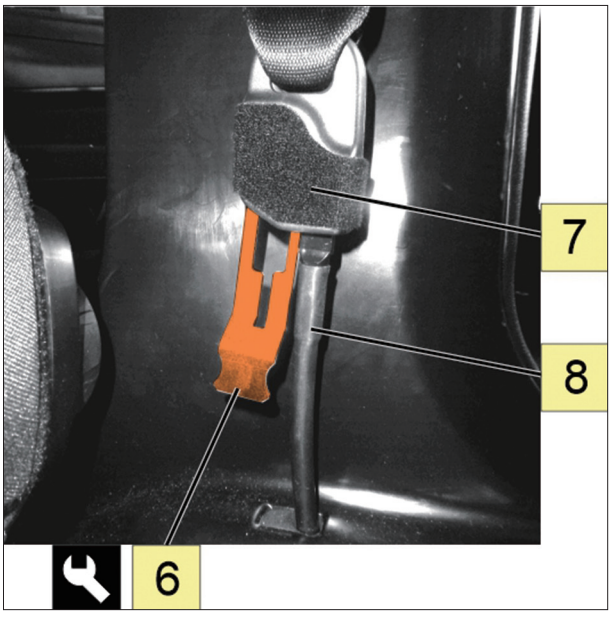
33. ドア・コンパートメントとアッパ・ピラー・トリム付近のウェザー・ストリップ (3) を外す。



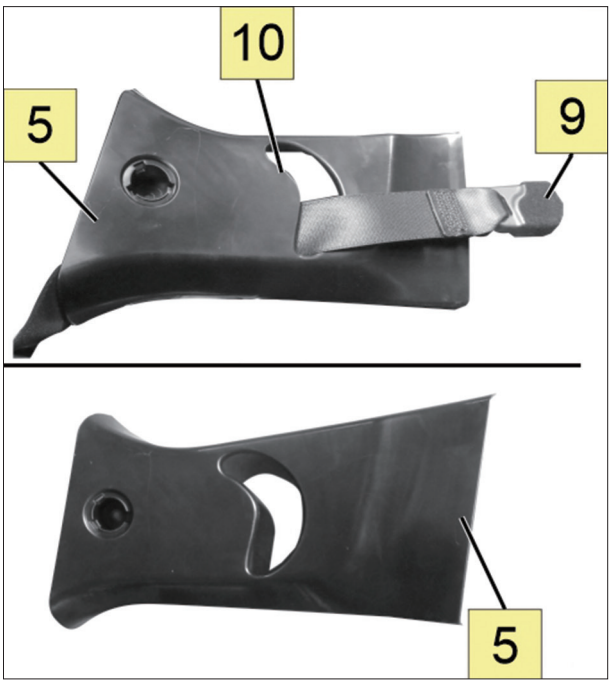
34. インナ・リテーナ (4) を外し、センタ・ピラー・トリム (5) のアッパ・エレメントを脇へよける。



35. 専用工具 2048600230 (6) をシート・ベルト・ブランチ (7) の穴に挿入し、ランバ・サポート・プリテンショナ (8) から外す。

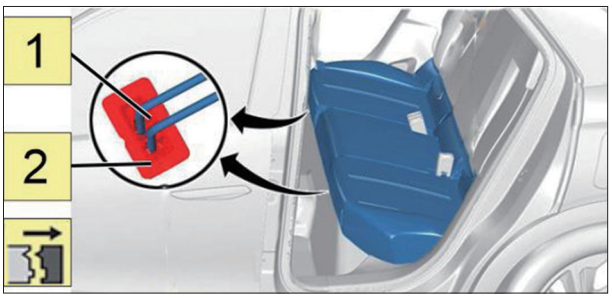


36. 開口部 (10) からシート・ベルト (9) の端部を外し、助手席側センタ・ピラー・トリム (5) のアッパ・エレメントを取り外す。

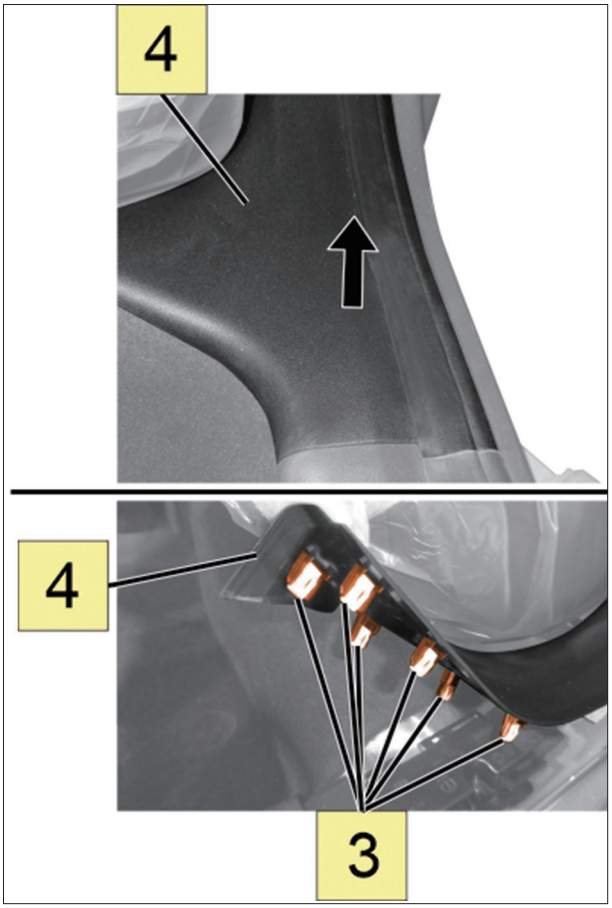


48V バッテリーの取り外し

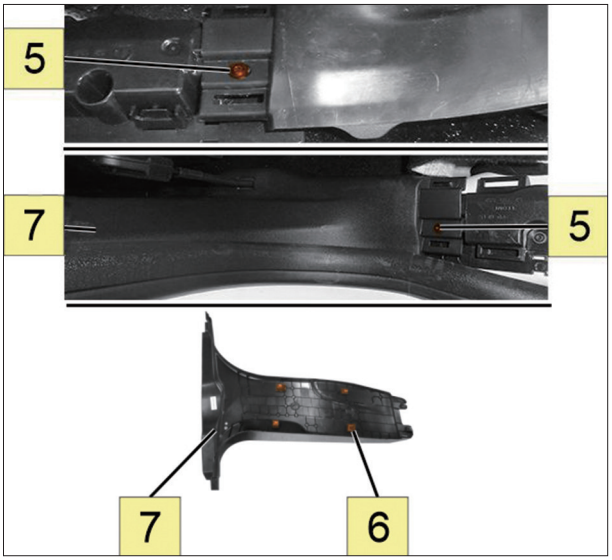
1. シート・クッションの両側から作業し、フロント・フック (1) を固定部から押したり離したりしてリテーナ (2) に作用させ、クッションを上に起こす。



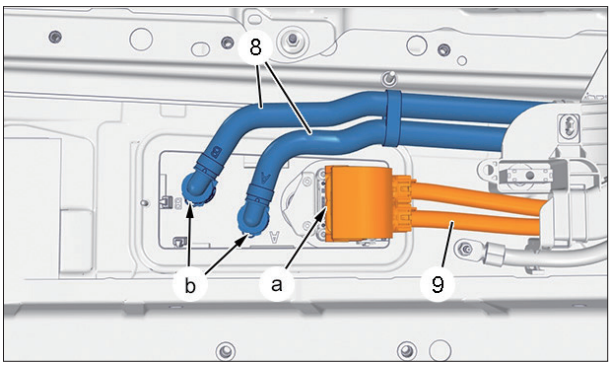
2. リテーナー (3) を外し、サイド・バランス・フロント・エレメント (4) を持ち上げます。



3. センタ・ピラー・トリムを固定しているスクリュ (5) を取り外す。
4. リテーナー (6) を引き抜いてセンタ・ピラー・トリム・ロア・エレメント (7) を脇に寄せます。



5. 車内から作業し、クリップ (b) を外し、トラクション・バッテリー・クーラント・パイプのクイック・コネクタ (8) を切り離す。
6. トラクション・バッテリー・クーリング回路に残ったクーラントを排出する。



注意 :

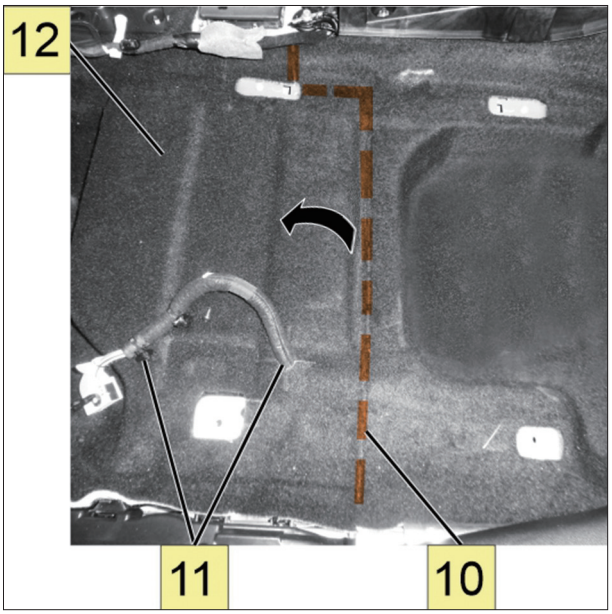
クーラントを適切な容器に回収する。

7. トラクション・バッテリーのクーラント・パイプ接続部を、漏出防止用のテープ等でカバーする。
8. トラクション・バッテリーの電源ケーブル (9) のコネクタ (a) を切り離す。

警告 :

電源ケーブル (9) を損傷させないよう注意する。

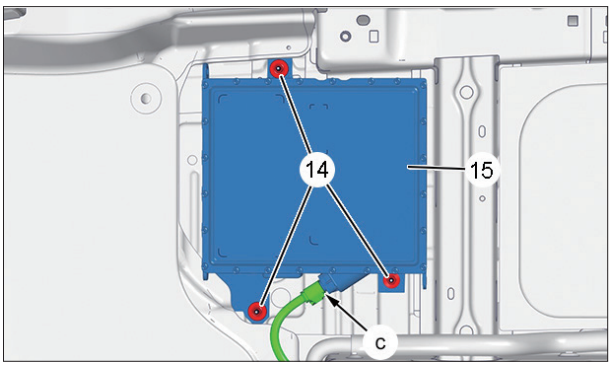
9. トラクション・バッテリーのコネクタ (a) 接続部を、絶縁テープ等で絶縁する。
10. カッターを使用し、裁断線 (10) に沿ってマットをカットする。
11. 穴 (11) から配線を外す。
12. マット (12) を裁断部からめくり上げる。



13. 絶縁カバー (13) を引き出して、取り外す



14. トラクション・バッテリーの信号コネクタ (c) を切り離す。
15. 固定ナット (14) を外し、トラクション・バッテリー (15) を取り外す。



48V バッテリーの梱包

1. 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリー上面に貼付する。
2. バッテリーは、運送会社の持参する段ボールに裸の状態で解体事業者が格納し、運送会社へ引き渡す。

問い合わせ先

取り外し作業に関する問い合わせ先

Stellantisジャパン株式会社　CIAO フィアット： 0120-404-053
受付時間：9:00 ～ 21:00　年中無休
https://www.fiat-auto.co.jp/recycle/

取り外した 48V バッテリー・パックの回収依頼先

＜LiB 回収受付窓口＞
取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。
⇒リチウムイオンバッテリー(LiB)引取依頼システム(https://www.lib-jarp.org/)

＜LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問合わせ先＞
自動車再資源化協力機構（自再協）0570-000-994【平日 9:00 ～ 17:00（年末年始及び土日祝祭日を除く）】